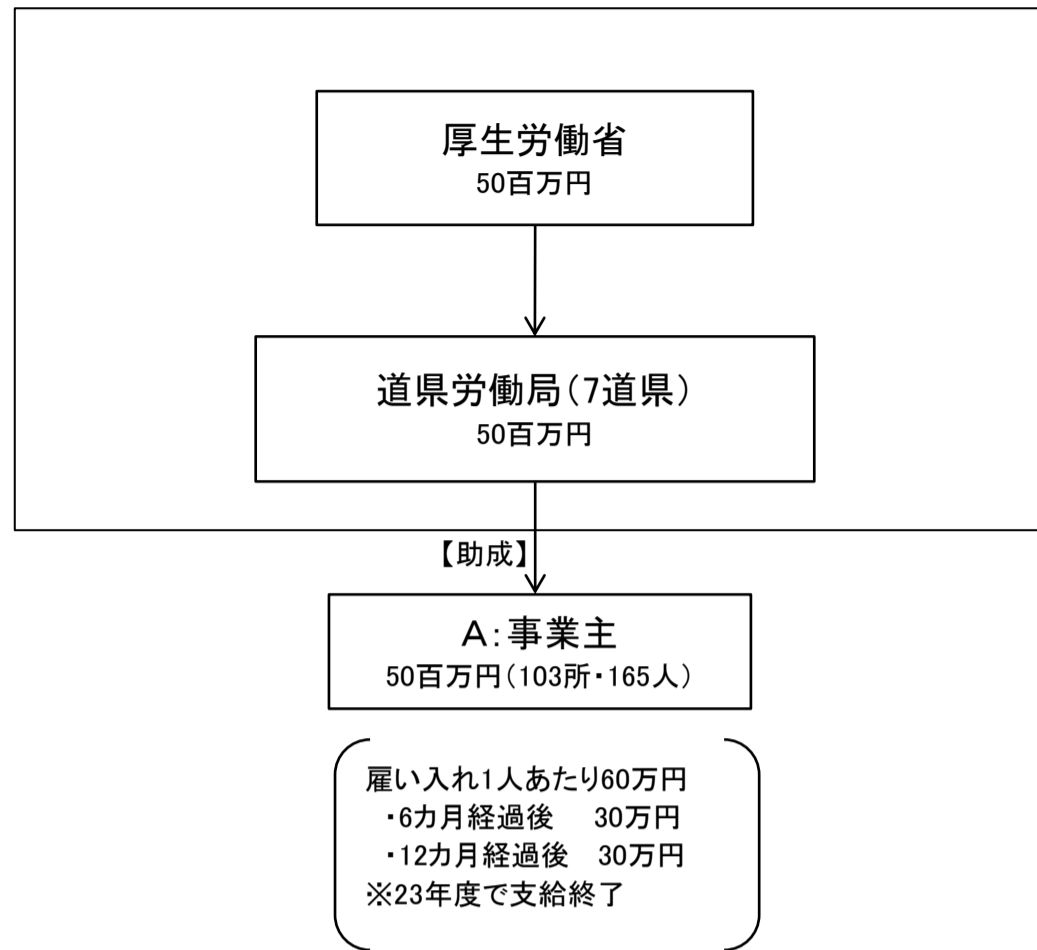


行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	地域雇用開発助成金 (地域貢献活動雇用拡大助成金)		担当部局庁	職業安定局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成21年度・平成22年度		担当課室	地域雇用対策室		地域雇用対策室長		
会計区分	労働保険特別会計雇用勘定		施策名	Ⅱ-1-2 地域、中小企業、産業の特性に応じ、雇用の創出や失業の防止を図る				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	雇用保険法第62条第1項第4号及び第5号並びに第63条第1項第7号		関係する計画、通知等	-				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	地域貢献活動支援事業(21年度及び22年度の2年間の試行的事業)を受託した特定非営利活動法人による支援を受けて経営体制等の整備を図った法人等を支援することにより、地域における雇用の創出及び安定を図ること。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	地域貢献活動支援事業(21年度及び22年度の2年間の試行的事業)を受託した特定非営利活動法人による支援を受けて経営体制等の整備を図った法人等が、雇用保険の一般被保険者として6ヶ月以上継続して雇用する労働者を1名以上雇い入れた場合に助成金を支給する。							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	/	/	124	84	/	
		補正予算	/	/	0	0	/	
		繰越し等	/	/	0	0	/	
		計	/	/	124	84	/	
	執行額	/	/	50	/	/		
	執行率 (%)	/	/	40.3%	/	/		
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		/	単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (23年度)
	地域貢献活動支援事業による支援を受け雇い入れられた労働者のうち、当該助成金の2回目の支給申請時点において継続就業している労働者の割合が90%以上であること。		成果実績	%	/	/	67.7%	90%
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		/	単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	雇入れ人数		活動実績 (当初見込み)	人	/	/	417人 (助成対象165人)	- (-)
単位当たりコスト	300,000(円/人)		算出根拠	支給額/支給人数 =49,500,000円/165人				
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	雇用安定等給付金	84	0	23年度は経過措置、23年度で支給終了				
	計	84	0					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的 状況・予算の	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	－	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の 流れ、 費目・ 使途	－	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	－	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、 成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	－	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	23年度で廃止。		
予算監視・効率化チームの所見			
－	－		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
－			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

※金額は平成22年度実績



資金の流れ  
(資金の受け  
取り先が何を  
行っているか  
について補足  
する) (単  
位: 百万円)

費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロッ  
 クごとに最大の  
 金額が支出され  
 ている者につい  
 て記載する。費  
 目と使途の双方  
 で実情が分かる  
 ように記載)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0